

令和6年度授業改善プラン

- (取り組み内容)
- ・毎学期の終わり、自分の担当(各学年ごとに項目だてて)の授業に関して作成する。

・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。

・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。

・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

教科名(国語科) 教科主任名 渡邊悠太

★教科・観点について
学力向上のための調査・期末テストび学期の学習状況、生徒の授業アンケートをもとに分析し記入する。＜○成果 ▲課題＞

観点	前半～9月			後半～1月		次年度に向けて まとめ
	学年	課題分析	具体的な改善策	学年	課題分析(授業改善・プランの1次評価)	1次評価後の具体的な改善策
知識・技能	1年	○漢字の学習ワークを活用して、毎授業5分間漢字学習を習慣化し取り組むことができた。 ▲小テスト後の漢字を復習することを習慣化していきたい。	・定期考査などの総復習する機会を増やし、漢字の定着を促していく。	1年		
	2年	○漢字のワークの学習を中心に学習を進められた。 ▲定期テストの結果から、漢字の定着度(書き取り)が低かったため、知識を定着させる必要がある。	・学習者用端末なども活用しながら知識を定着させる。	2年		
	3年	○毎時の漢字学習に意欲的に取り組み、漢字の書きの力が身に付いてきている。 ▲古典の知識について苦手意識を抱く生徒が多い。特に漢文の訓点の理解と書き下しに課題が見られる。	・漢字…引き続き毎授業漢字学習を行い、数回に分けて確認テストを行う。 ・古典…入試問題の演習の際に復習として書き下しに取り組ませ、個別に指導も行う。	3年		
思考・判断・表現	1年	○話し合い活動に積極的である。▲話し合い時、作文課題時の質を向上していきたい。	・話し合いの原則を確認したり、話し言葉と書き言葉について確認したりしていく。	1年		
	2年	○自身の考えを作品や意見文で表現することができた。▲より良い表現方法を自分自身で創意工夫させたい。	・表現方法について考える際、他者との交流などを通して深めていく。	2年		
	3年	○文学的文章の読み取りと200字作文については、達成率が非常に高い。抽象化した言葉選びができている。 ▲説明的文章の読み取りが依然低く課題であり、要旨や具体例と結論のつながりを読ませる必要がある。	・作文…200字から具体例を膨らませた400～600字に挑戦させる。 ・説明的文章…教科書教材と関連文章の比べ読みを通して、それぞれの作者の意図を読み取らせる。	3年		
主体的に学習に取り組む態度	1年	○答えが一つにならない問いなどに積極的に自分の考えをもつように取り組むことができている。 ▲自分の身に付けた力を、今後どのように活用するか、考えることができるようにする。	・学習計画表を通して、今後どのような場面で身に付けた力を活かすことができるのか意識した振り返りをしていく。	1年		
	2年	○単元の学習が終了する際、ワークシートで自身の学習について考えることができた。 ▲学習したことを生活に生かすというところまで深めさせたい。	振り返りの時間を単元の学習最後に設け、「今回の学習で今後に生かせること」を具体的に考える。	2年		
	3年	○単元の目的に沿って、振り返りを行っている。自分の言葉で学習できたことを表現しようとしている。 ▲単元の途中で、指導と振り返りの時間を確保する必要がある。	・自分の言葉で表現する「書くこと・話すこと」の領域において、途中で指導したり振り返らせたりする時間を作り、自己調整力が見取りやすい仕掛けをする。 ・入試に向けた演習の合間に、漢字の単元等で楽しみながら学習できる環境を作る。	3年		